

7 季節と植物・春

1 野原、花だんや畑の植物

(1) 花をさかせる植物

- ①野原 冬の間もかれなかったタンポポ、ハルジオン、オオイヌノフグリ、シロツメクサ、スミレ、レンゲソウ、カラスノエンドウ、オオバコ、カタバミなど。
- ②花だんや畑 前の年の秋に球根を植えたチューリップ、ヒヤシンスなどや、秋に種子をまいたアブラナ、エンドウなど。
- ③山林 まだ木の葉がしげっていない明るい山林で、カタクリ、フクジュソウなど。

- (2) **くきや葉をのぼす植物** 冬の間もかれなかったヒメジョオン、メマツヨイグサ、セイタカアワダチソウなど。

- (3) **地下の根やくきから芽をのぼす植物**
冬の間、地上の部分はかれても、地下の根やくきが生きていた植物。

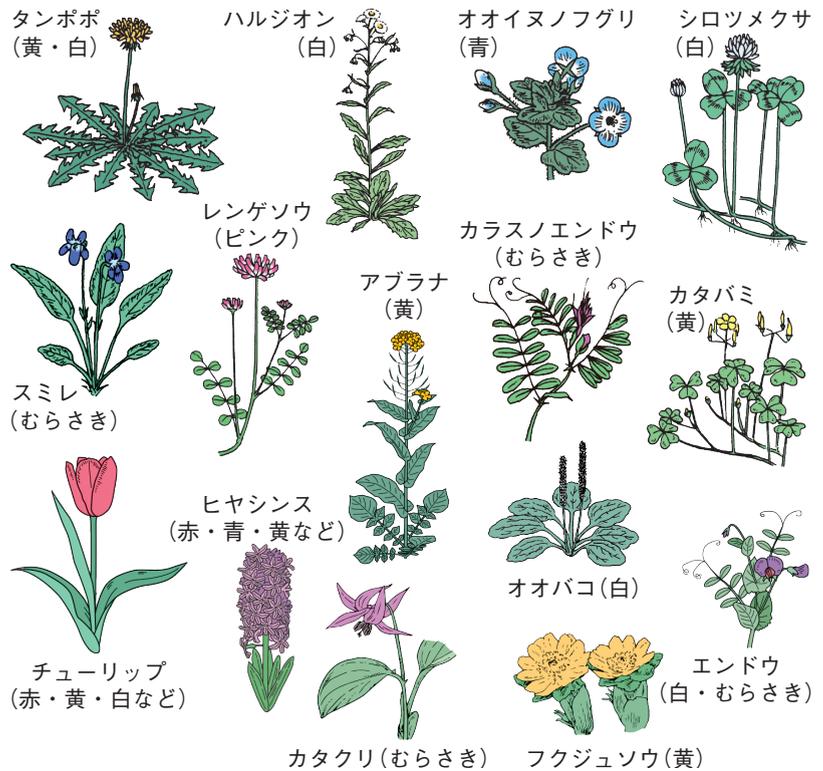
- ①地下の根から芽をのぼす キクなど。
- ②地下のくきから芽をのぼす ススキ、ドクダミ、ヨモギなど。

(4) 種子から芽を出す植物

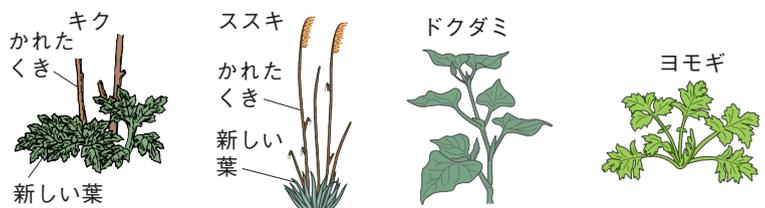
- ①野原 前の年の秋に、ほから種子がこぼれたエノコログサなど。
- ②花だんや畑 春に種子をまくアサガオ、ヒマワリ、ホウセンカ、ヘチマ、マリーゴールド、コスモスなどや、ナス、トマト、キュウリ、トウモロコシなどの野菜。

- (5) **たねいもから芽を出す植物** 春に植えつけをするジャガイモ、サトイモ、サツマイモなど。サツマイモはさらに、たねいもから出た芽を切って植える(さし木)。

▼1 花をさかせる植物 () は花の色



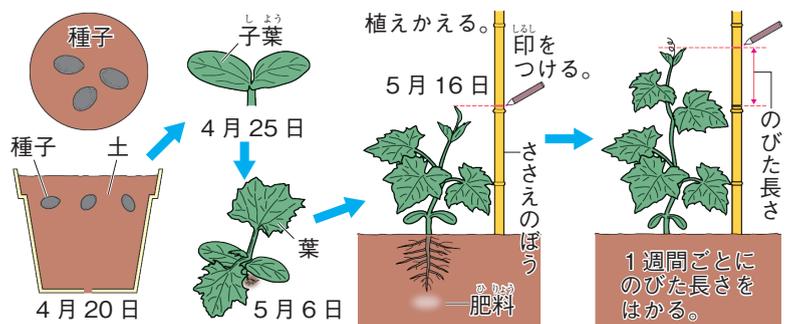
▼2 地下の根やくきから芽をのぼす植物



▼3 種子から芽を出す植物



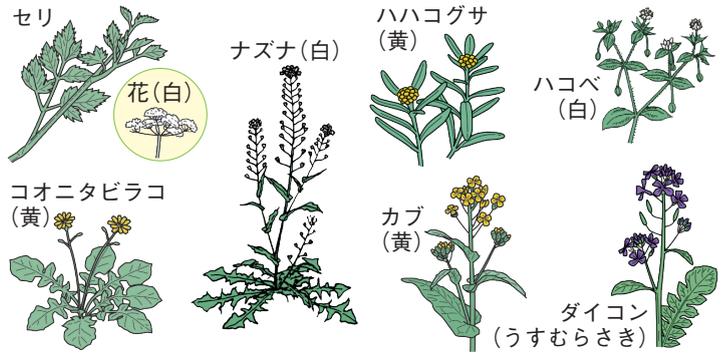
▼4 ヘチマの育ち方の観察



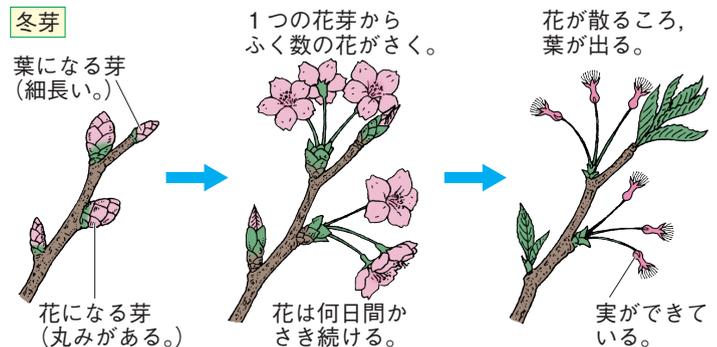
(6) **春の七草** セリ, ナズナ, ハハコグサ(ゴギョウ), ハコベ(ハコベラ), コオニタビラコ(ホトケノザ), カブ(スズナ), ダイコン(スズシロ)。夏に花をさかせるセリ以外は, 春に花をさかせる。

★**春の七草** 「せりなずな ごぎょうはこべら ほとけのざ すずなすずしろ これぞ七草」と昔から歌われてきた。1月7日の朝に「七草がゆ」を食べる風習がある。

▼5 春の七草 ()は花の色



▼6 ソメイヨシノの冬芽・花・葉



2 木の芽や花

かたい芽(冬芽)で冬をこした木は, 春になると芽がふくらむ。

(1) サクラ(ソメイヨシノ)

- ①冬芽 丸みのある花の芽(花芽)と, 細長い葉の芽(葉芽)がある。
- ②花と葉 気温が10℃より高くなると花がさき始める。はじめに花がさき, 花が散るころに葉が出る。やがて葉がふえ, えだがのびる。花のあとには実ができる。

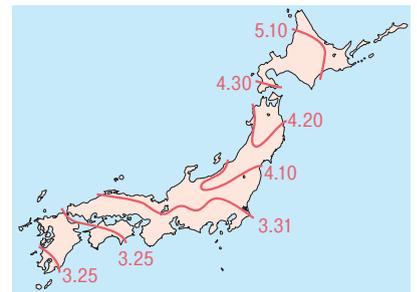
- ③開花前線 同じころに花がさき始める地いきを, 地図上に線でつないで表したものを。サクラの花がさく日(開花日)は, 南の地方から北の地方へとつつっていく。また, 同じ地方でも平地より山地のほうが気温が低い(ひく)ため, 平地から山地へとさいていく。ソメイヨシノの開花前線は, とくにサクラ前線とよばれる。

★**開花日** 各地いきで決められた木に, 花が5~6輪(りん)以上さいた日。

(2) 庭や公園の木

- ①あたたかくなるにつれて, ウメ, コブシ, ツバキ, モクレン, ツツジ, フジなどの花が次々にさく。
- ウメにもサクラと同じように開花前線がある。南の地いきでは開花がサクラより2か月ほど早い, 北の地いきでは, 開花日がサクラとほぼ同じになる。

▼7 サクラ前線

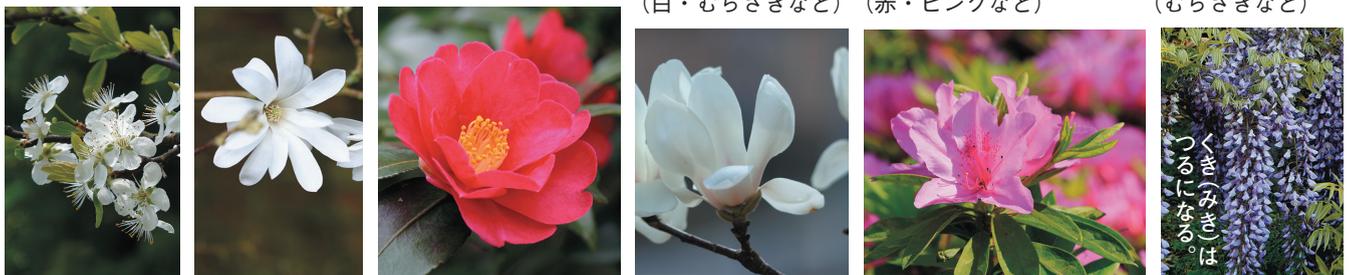


▼8 ウメの開花前線



▼9 庭や公園のいろいろな木 ()は花の色

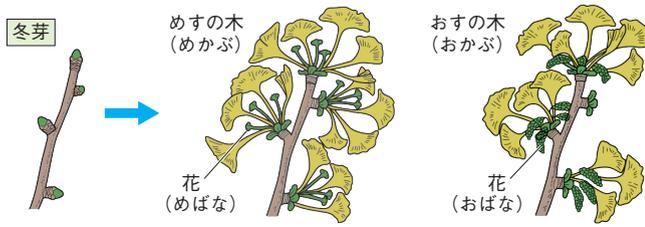
ウメ(白・赤など) コブシ(白) ツバキ(赤・白など) モクレン(白・むらさきなど) ツツジ(赤・ピンクなど) フジ(むらさきなど)



7 季節と植物・春

- ②イチヨウ はじめに葉が出て、ほぼ同時に小さな花がさく。おすの木(おかぶ)とめすの木(めかぶ)があり、おすの木におばなを、めすの木にめばなをつける。
- ③アジサイ 緑色の新しいえだをのばす。

▼10 イチヨウのおばなとめばな



▼11 アジサイの新しいえだ



(3) ぞう木林の木

- ①イロハカエデ はじめに葉が出て、ほぼ同時に小さな花がさく。
- ②クヌギやコナラ 葉が出るころに、小さな花がさく。同じ木におばなとめばなをつける。

▼12 ぞう木林の木



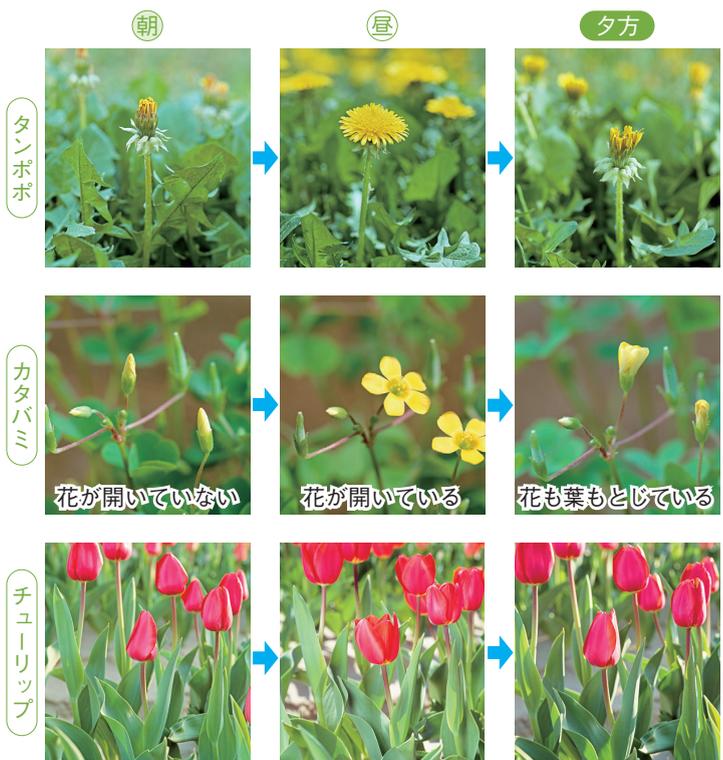
3 植物のようすの変化

- (1) 時こくや天気による変化 時こくや天気によって、花や葉が1日の中で開いたりとじたりするものがある。

○晴れの日の昼間開き、夕方とじる タンポポの花、カタバミの花と葉、レンゲソウの花と葉、シロツメクサの葉、フジの葉、チューリップの花など。夜や雨の日はふつう、ほとんどとじている。

★花や葉が開いたりとじたりする運動は、光の強弱や温度の変化がしげきとなって起こる。たとえば、カタバミは光の強弱の変化に、チューリップは温度の変化にしげきを受けることが知られている。

▼13 植物の1日の中での変化(晴れの日)



- (2) タンポポの花茎の変化 花が開く1~2日前に花茎が急にまっすぐのびる。→花が開いたりとじたりを何回くり返す。→花が終わると、花茎がたおれる。→実がじゅくしてくると、花茎がふたたび起き上がった急にのびる。

▼14 タンポポの花茎の変化

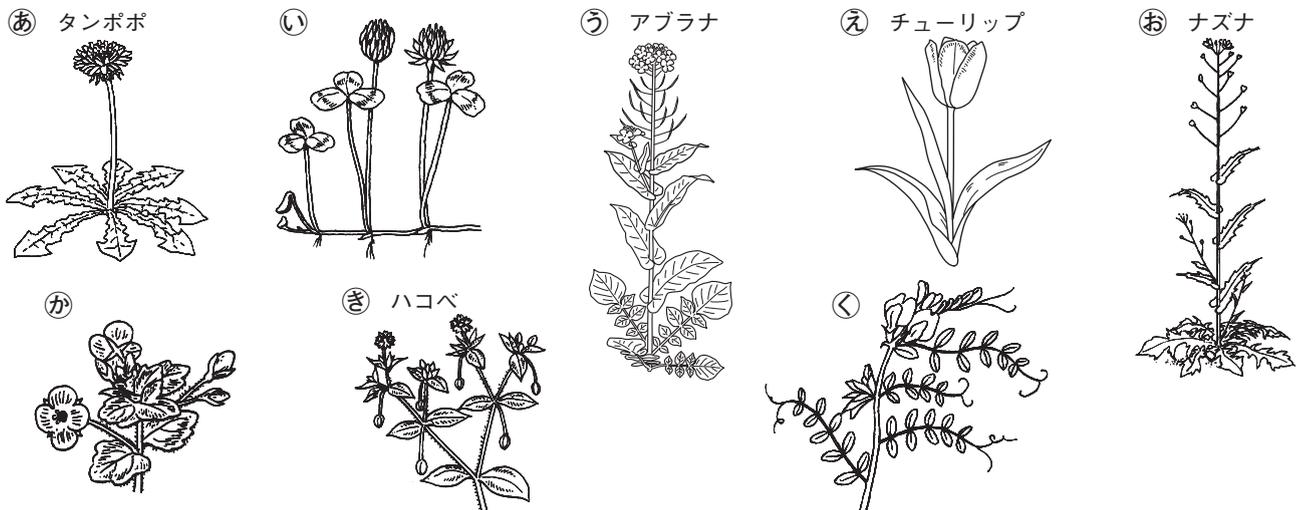


基本問題

1 基本のかくにん 次の問いに答えなさい。

- (1) 春に花をさかせる植物はどれですか。 ()
 ア ドクダミ イ アサガオ ウ スミレ エ キュウリ
- (2) 前の年の秋に球根を植えて、春に花をさかせる植物はどれですか。 ()
 ア レンゲソウ イ タンポポ ウ ヒヤシンス エ トマト
- (3) ヒメジョオンやメマツヨイグサの春のようすはどちらですか。 ()
 ア 花をさかせている。 イ くきや葉をのばしている。
- (4) ジャガイモやサツマイモの春のようすはどちらですか。 ()
 ア 花をさかせている。 イ たねいもから芽を出している。
- (5) サクラ(ソメイヨシノ)の冬芽ふゆめには、丸みのある芽と細長い芽とうががあります。丸みのある芽は、花と葉のどちらになりますか。 ()
- (6) タンポポの花茎は、花が開いたりとじたりを何回かくり返して花が終わったあと、どうなりますか。 ()
 ア 一度たおれ、実がじゅくしてくると起き上がる。
 イ 一度たおれると、実がじゅくしてもたおれたままである。

2 春に花をさかせる植物 図の㉔～㉚は、春の野原や花だん、畑で花をさかせている植物のようすを表したものです。あとの問いに答えなさい。



- (1) ㉕, ㉘, ㉙の植物の名前は、それぞれどれですか。 () () ()
 ア カラスノエンドウ イ ハルジオン ウ オオバコ
 エ オオイヌノフグリ オ カタバミ カ シロツメクサ
- (2) ㉖, ㉗の花の色は、それぞれどれですか。 () ()
 ア 白色 イ 赤色 ウ 黄色 エ むらさき色
- (3) 前の年の秋に、球根を植えたものはどれですか。 ()
- (4) 前の年の秋に、種子しゅしをまいたものはどれですか。 ()
- (5) 春の七草にふくまれるものはどれですか。2つ選えらびなさい。 () ()

7 季節と植物・春

3 春に芽を出す植物 図の㉑～㉖は、春の野原や花だん、畑で芽を出している植物のようすを表したものです。あとの問いに答えなさい。

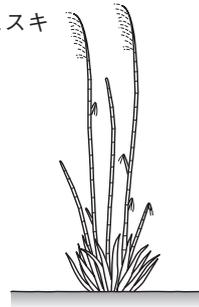
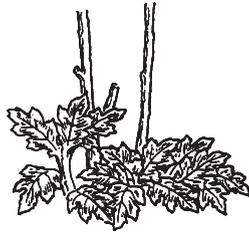
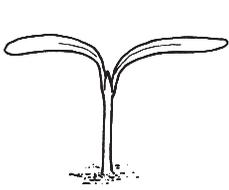
㉑ コスモス

㉒ キク

㉓ ヨモギ

㉔ ススキ

㉕ トウモロコシ



(1) 冬の間も生きていた地下の根やくきから、春になって芽をのばしたのがあります。

① 地下の根から芽をのばしたものはどれですか。

()

② 地下のくきから芽をのばしたものはどれですか。2つ選びなさい。

() ()

(2) 春にまいた種子から芽を出したものはどれですか。2つ選びなさい。

() ()

(3) (2)と同じように、春にまいた種子から芽を出す植物として、あてはまらないものはどれですか。

()

ア ヒマワリ

イ エンドウ

ウ ホウセンカ

エ ナス

4 ヘチマの育ち方 図は、春に種子をまき、芽を出したヘチマのようすを表したものです。次の問いに答えなさい。

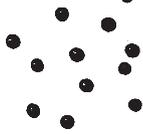
(1) ヘチマの種子はどれですか。

()

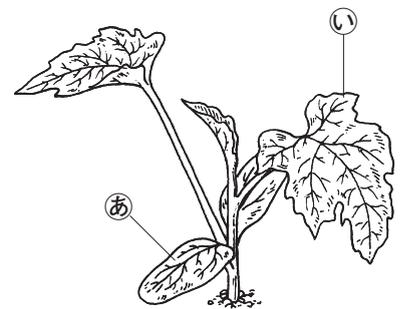
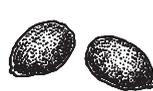
ア



イ



ウ



(2) ㉑, ㉒の葉を、それぞれ何といいますか。

㉑()

㉒()

(3) 図のヘチマは、このあとどうなりますか。2つ選びなさい。

() ()

ア ㉑の葉がふえる。

イ ㉒の葉がふえる。

ウ ㉑の葉が大きくなる。

エ まきひげが出る。

5 サクラ(ソメイヨシノ)のようす 図は、春のはじめに見られるソメイヨシノのえだのようすを表したものです。次の問いに答えなさい。

(1) ㉑, ㉒は、冬の間はかたく、春になるとふくらみ始める芽です。

① このような芽を何といいますか。

()

② 葉になる芽は、㉑, ㉒のどちらですか。

()

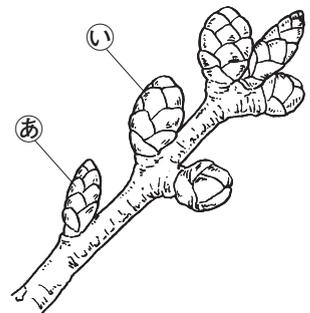
(2) 図のソメイヨシノは、これからどのように変化していきますか。

ア 花がさくのと同時に葉も出る。

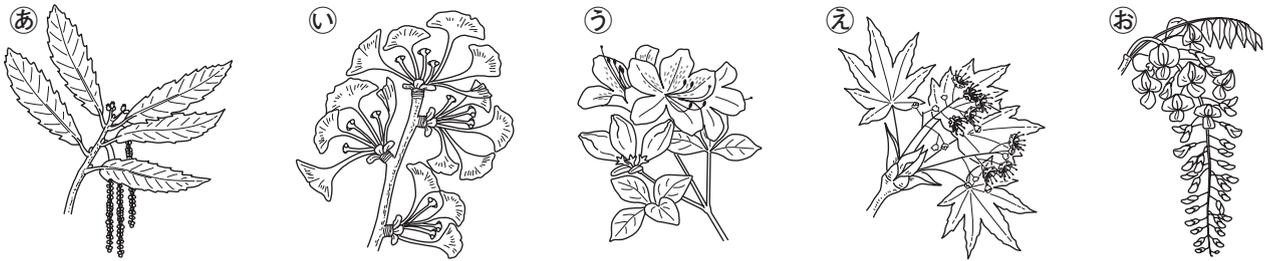
()

イ はじめに葉が出て、そのあとに花がさく。

ウ はじめに花がさき、花が散るころに葉が出る。



6 **いろいろな木のようす** 図の㉠～㉦は、春に花をさかせているいろいろな木のようすを表したものです。あとの問いに答えなさい。



□(1) ㉠～㉤の木の名前は、それぞれどれですか。

㉠() ㉡() ㉢() ㉣() ㉤()

- ア ツバキ イ イロハカエデ ウ モクレン エ ウメ
オ フジ カ ツツジ キ クヌギ ク イチョウ

□(2) おすの木とめすの木があり、おすの木におばなを、めすの木にめばなをつけるものはどれですか。 ()

□(3) 同じ木に、おばなとめばなをつけるものはどれですか。 ()

□(4) くき(みき)がつるになっているものはどれですか。 ()

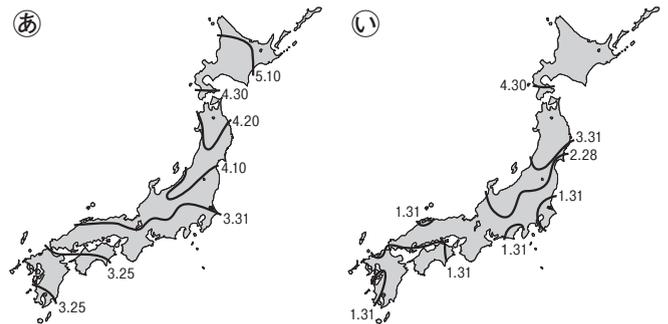
7 **開花前線** 図の㉠、㉡は日本のソメイヨシノとウメの開花前線を表したものです。次の問いに答えなさい。

□(1) ソメイヨシノの開花前線(サクラ前線)は、㉠、㉡のどちらですか。

()

□(2) 開花前線が図のようにうつっていくことと、もっとも関係が深いものはどれですか。

- ア 晴れの日の日数 イ 気温 ウ 雨のふる量りょう



()

8 **時こくや天気による植物の変化** 次の㉠～㉤の植物の、1日のようすをかんさつ観察しました。あとの問いに答えなさい。

- | | | | |
|--------|----------|--------|---------|
| ㉠ タンポポ | ㉡ チューリップ | ㉢ カタバミ | ㉣ オオバコ |
| ㉤ スミレ | ㉦ シロツメクサ | ㉧ アブラナ | ㉨ ハルジオン |

□(1) 晴れの日、昼にさいていた花が、夕方になるととじていたものはどれですか。3つ選びなさい。

() () ()

□(2) 晴れの日、昼に開いていた葉が、夕方になるととじていたものはどれですか。2つ選びなさい。

() ()

□(3) 晴れの日、花が昼にさいて、夕方になるととじる植物は、雨の日の昼にはどうなっていますか。

()

- ア とじていることが多い。
イ 晴れの日と同じように、さいていることが多い。
ウ かれてしまう。

標準問題

10 2 **まとめ** ① **植物の冬ごし** 植物はまわりの温度が下がると葉を落したり、かれたりして成長が止まり、春になって温度が上がるとふたたび成長を始めます。植物の一部は冬になるとかれてその個体は死んでしまいますが、たねを残すことのでなかまを残しています。② たねではなく地下にくきや根を残して冬ごしをする植物もあります。一方、③ 落葉樹は冬になる前に葉を落とすことで対おうします。落葉は一年生の植物がかれるののていますが、落葉樹はかれているのではなく、葉が落ちたあとに、④ 次の年の春に芽を出す葉や花の芽ができています。次の問いに答えなさい。

- (1) 下線部②と同じように、冬ごしをするのにたねを残さない植物はどれですか。 ()
 ア タンポポ イ ヘチマ ウ イネ エ アサガオ
- (2) 下線部②のように、地下にくきや根を残して冬ごしをする植物の例としてあてはまらないものはどれですか。 ()
 ア ドクダミ イ カボチャ ウ ユリ エ サツマイモ
- (3) 植物の冬ごしのしかたとして、葉を地面にはりつくように広げて冬ごしをする植物があります。この植物の例としてあてはまらないものはどれですか。 ()
 ア ヒメジョオン イ ナズナ ウ ヒマワリ エ セイタカアワダチソウ
- (4) 下線部③の落葉樹ではないものはどれですか。 ()
 ア ツバキ イ クリ ウ サクラ エ カエデ
- (5) 落葉樹の葉には、落ちる前に赤色や黄色に色づくものも多くあります。葉が落ちる前に葉が赤色に色づくものはどれですか。 ()
 ア シイ イ カキ ウ スギ エ イチョウ
- (6) 落葉樹とはちがい、葉が落ちずに冬ごしをする植物を何といいますか。 ()
- (7) 下線部④のような芽を何といいますか。 ()
 ア 春芽 イ 夏芽 ウ 秋芽 エ 冬芽

12 1, 2 **まとめ** ② **季節と生き物** 次の①~⑧にあてはまる生き物の名前を、あとのア~クからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 夏に黄色いめばなどおばながさき、できた実はからだをあらうために使われる。 ()
- ② 土の中にたまごをうみ、地中で約6年間よう虫ですごす。さなぎにならないで、夏に成虫になると2週間くらいで死ぬ。 ()
- ③ 1年中、緑色の葉がついている。めばなどおばなが1つの木にさく。 ()
- ④ 夏に形のちがうめばなどおばながさき、夏のうちに実がじゅくす野菜である。 ()
- ⑤ あしは14本あり、石の下などで生活する。おどろかすと、丸まってしまう。冬は落ち葉の下などでじっとしている。 ()
- ⑥ 秋になると葉は黄色くなり、やがて木から落ちてしまう。おすの木とめすの木に分かれていて、種子は食べることもできる。 ()
- ⑦ 春のはじめ、ピンクや白色の花がさき、実はほして塩づけにすると食べられる。 ()
- ⑧ 春になるとさなぎから羽化し、サンショウやミカンの木にたまごをうむ。 ()
- ア イチョウ イ マツ ウ ウメ エ トウモロコシ オ ヘチマ
 カ セミ キ ダンゴムシ ク アゲハ

実力問題

1 次のア～キは、小金井君が自然観察して記録しているフィールドノートからいくつかをぬき出したものです。ア～キのげん象を早春から順にならべたとき、もっともふさわしいものを下の①～⑥から選び、番号で答えなさい。なお、小金井君は東京こう外のきゅうりょう地に住んでいます。(中央大学附属・改)

()

- ア ツクツクボウシの鳴き声が、もっともよく聞かれるようになった。
- イ 近くのお寺のけいだいで、夜間ムササビがじゅくしたカキの実をおいしそうに食べていた。
- ウ ヒキガエルがお寺の池にたまごをうんでいた。
- エ 庭の木に巣箱をかけたら、シジュウカラがたまごをうみ、子育てを始めた。
- オ ヒガンバナが田んぼのあぜで真っ赤にさいていた。
- カ 公園のアジサイの花がさきだし、用水路でホタルが飛び交うようになった。
- キ ヒマワリがさきだした。

- ① ウーエーアーカークーオーイ ② エーカークーイーオーキークーア
- ③ ウーカークーエーキークーアーイーオ ④ エーウーカークーオーキークーアーイー
- ⑤ ウーエーカークーキークーアーオーイ ⑥ エーイーウーキークーカークーオーア

2 図1は、あるこん虫のたまご・よう虫・さなぎ・成虫が観察できる時期を、春・夏・秋・冬の季節ごとに大まかに表したものです。このこん虫は成虫で冬をこして春にたまごをうみます。そして、たまごからふ化して夏にはよう虫になり、変態して秋はさなぎですごして、冬に成虫になることを表しています。

図1

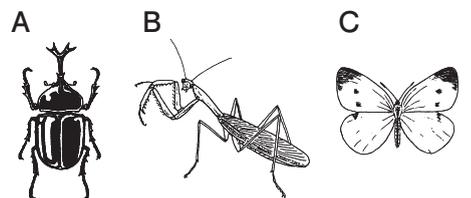
	春	夏	秋	冬
たまご	■			
よう虫		■		
さなぎ			■	
成虫				■

図2は、東京で観察できる3種類のこん虫①・②・③について、季節ごとにどのようなすがたが観察できるかを調べて表したものです。あとの問いに答えなさい。(成城・改)

図2

図3

	春	夏	秋	冬
①	■	■	■	
②	■		■	
③	■	■		■



- (1) 図2の①～③は、それぞれ図3のA～Cのこん虫のどれかを表しています。①、③が表しているこん虫は、A～Cのどれですか。それぞれ記号で答えなさい。 ①() ③()
- (2) 図2の①のこん虫は、春から秋にかけてたまご・よう虫・さなぎ・成虫のすべてを観察することができました。この理由として考えられるものはどれですか。次のア～エから選び、記号で答えなさい。 ()

- ア たまご・よう虫・さなぎ・成虫のすがたで、それぞれ半年以上生き続けるから。
- イ たまごから成虫になって死ぬまでの期間が短く、春から秋にかけて何回も世代がくり返されるから。
- ウ 秋にうんだたまごが、次の年にふ化する時期がまったくことなるから。
- エ 冬をこしたさなぎが、次の年に成虫になる時期がまったくことなるから。

